

令和2年度
～わかりやすい版～



上の原グラウンド

今年50周年！！

東久留米市の予算



～教えて！（コンテンツ）～

- 「予算」から分かることは
- 予算書のどこをチェックすればいいの
- 2年度には市のお財布からどれくらいのお金が出ていくの
- 市の収入にはどのようなものがあるの
- 「地方交付税」は、誰が支払っている税金なの
- 「その他の収入」には、どのようなものがあるの
- 市民が納めた税金はどのように使われているの
- サービス別の市民一人あたりの負担はいくら
- 歳出を費用の性質別に分類するとどのような特徴があるの
- 特別会計では、どのような事業が行われているの
- 市の預金はどのくらいあるの
- 市の借金はどのくらいあるの
- 2年度の東久留米市の主な事業
- 予算から見えてくる東久留米市の課題は
- 2年度予算事業を地図で見る

「予算」から分かることは…

その都市が目指す将来像

☆第4次長期総合計画でのまちの将来像☆

“自然 つながり 活力あるまち”

東久留米



市長が予算案を市議会に提案し、それを市議会が承認して予算が成立します。

東久留米市では、第4次長期総合計画 後期基本計画に掲げられた基本目標に基づき市長がつくった令和2年度予算案を3月に市議会へ提出し、審議の結果、承認されたため、この予算に従って2年度の行政サービスを実施していくことになります。

まちづくりの基本目標は……

- ☆計画を推進していくために
- ☆にぎわいと活力あふれるまち
- ☆住みやすさを感じるまち
- ☆健康で幸せにすごせるまち
- ☆子どもの未来と文化をはぐくむまち
- ☆地球環境にやさしいまち



？ 予算書のどこをチェックすればいいの

予算書には、市の1年間の収入の全てが「歳入」欄に記されています。一方、市の1年間の全ての支出が「歳出」欄に記されていて、常に歳入と歳出の総額が……



歳入＝歳出

と等しくなっています。

しかし、実際には市民に行政サービスを提供するために1年間に予定できる収入だけでは不足するため、一般家庭と同様に、預金を取り崩したり借金をしたりして、不足分を埋めます。このように、どのような行政サービスに税金などの収入を使っているかだけではなく、預金（積立金）や借金（債務）の状況も併せてチェックする必要があります。

予算は4月から翌年3月までの1年を期間とし、その間の全ての収入と支出の見積額を盛り込んで編成しますが、予定外の支出が求められたり、予定していたより収入が増減することがあります。そういう場合は年度の途中でも「**補正予算案**」を市長が市議会に提出し、承認されれば予算の内容を変更することができます。

？ 2年度には市のお財布から
どのくらいのお金が出ていくの



一般会計予算

（一般的な行政にかかるお金を支払うためのお財布）

438億1,700万円

（令和元年度予算と比べ、16億1,700万円、3.8%の増）

特別会計予算

（決まった用途のため、お金を支払うためのお財布）

※東久留米市では、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険
の3つの特別会計と下水道事業会計があります。
一般会計のお財布とは別に、4つのお財布をそれぞれ管理し
ています。

250億4,204万4千円

（令和元年度予算と比べ、4億2,149万5千円、1.7%の増）

※下水道事業会計を除く

総額 688億5,904万4千円

（令和元年度と比べ、20億3,849万5千円、3.1%の増）

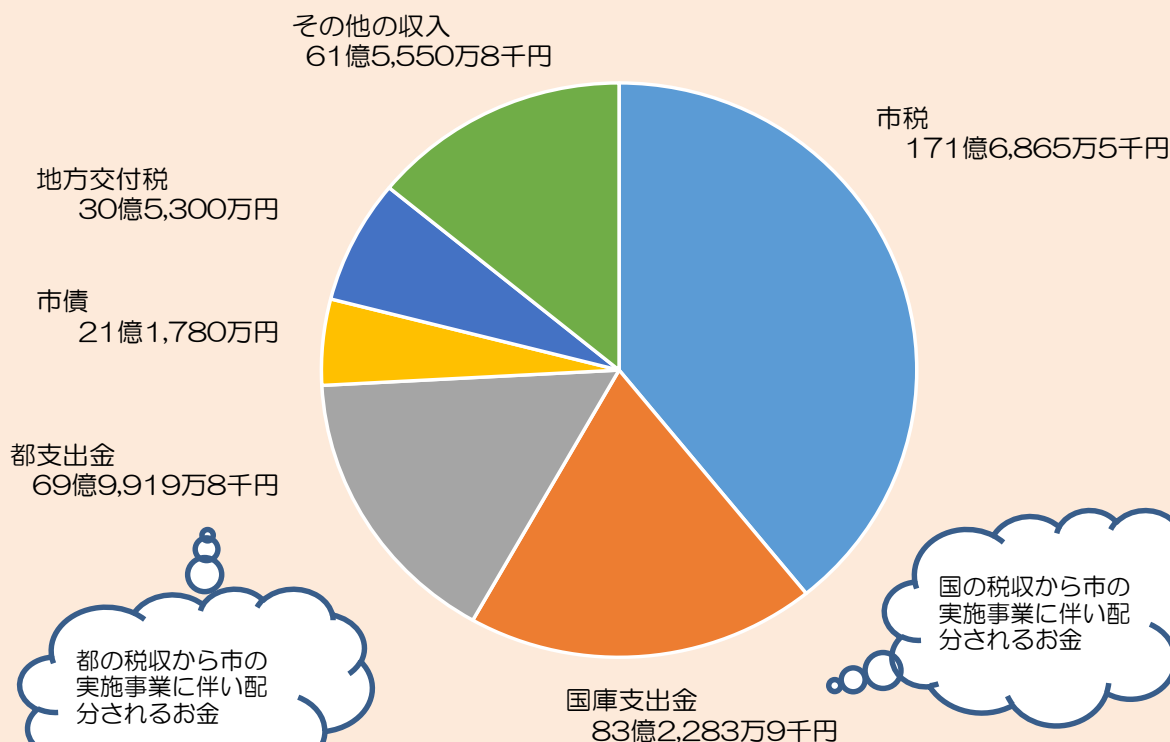


次のページからは「一般会計」のお財布の
中身について詳しく見てみよう！
特別会計の内容については11ページで詳
しく説明します。

？ 市の収入にはどのようなものがあるの

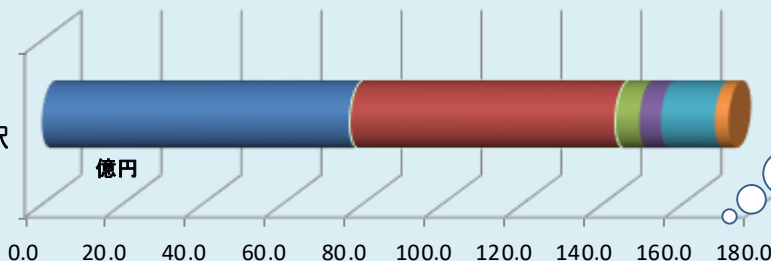


主な収入は、市民の皆さんに納めていただいた市税です。そのほか国や都からの収入、市債(融資団体や金融機関からの借り入れ)などがあります。



個人の所得に応じて課税されるのが個人市民税で、土地・家屋などに課税されるのが固定資産税です

市税の内訳



都市計画税は土地・家屋を所有する個人・法人が都市計画に基づく市の事業のために納める目的税です

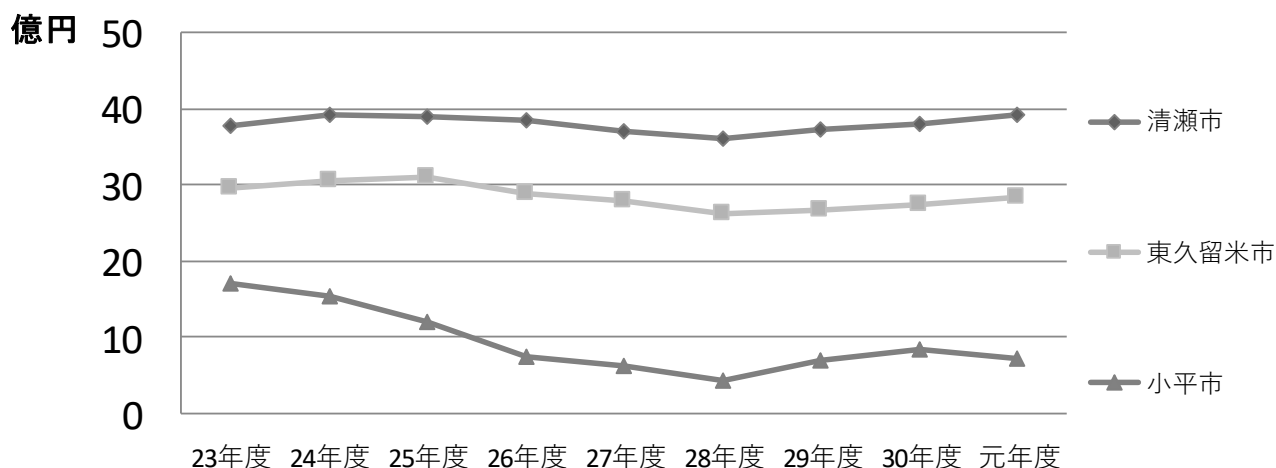
■個人市民税 ■固定資産税 ■法人市民税 ■市たばこ税 ■都市計画税 ■その他



？ 「地方交付税」は、誰が支払っている税金なの

- 市町村の独自の収入のうち多くを占めるのは市税ですが、市税収入は都市部や大きな企業がある都市に偏りがちです。しかし、そこに住む市民一人ひとりが必要とする行政サービスには大きな差はありません。
- そこで国は、都道府県と市町村に、税収が少なくても標準的なサービスが提供できるように、独自収入が多い団体と少ない団体とで差をつけてお金を配分する制度をつくっており、それが「地方交付税」です。
- 地方交付税のものは、市民が国に納めている税金で、所得税・法人税・酒税・消費税などの一定割合が充てられています。
- 地方交付税には普通交付税と特別交付税があり、特別交付税は大きな災害で被害を受けた市町村の復興のために交付されたりします。
- 都道府県では唯一、東京都は普通交付税を交付されておらず、令和元年度では全国で85市町村、多摩26市の中では、比較的市税収入が多い府中市や武蔵野市、立川市など9市は普通交付税を交付されていません。このように普通交付税を受けていない地方公共団体は「不交付団体」と呼ばれます。
- 東久留米市には、近年は30億円に近い額が毎年交付されていて、これはどんな目的にでも使える、市にとって大切な収入源となっています。

近隣市との普通交付税の比較（決算額）





？ 「その他の収入」には、 どのようなものがあるの

地方消費税交付金 24億7,000万円

国に納められる10%の消費税のうち、2.2%は地方消費税であり、都道府県を通して、そのうち概ね半分が市町村に交付されています。

令和元年10月から税率が10%に引き上げられたことに伴い、福祉のために使うこととされる割合が増加しました。東久留米市でも、高齢者・障害者・児童・ひとり親家庭などの福祉のために使っています。

分担金及び負担金 3億4,383万1千円

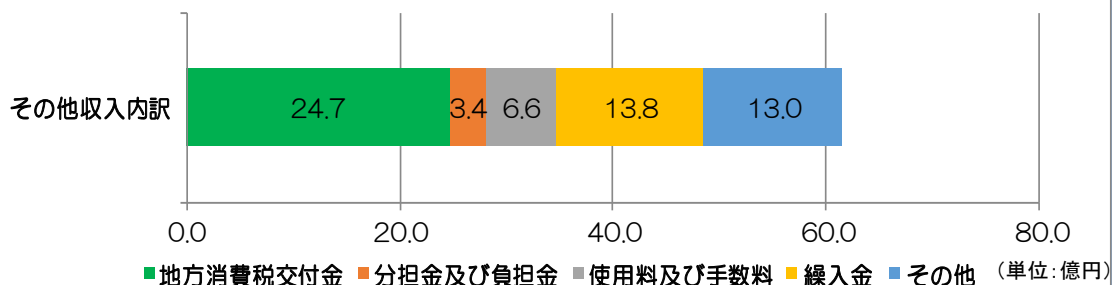
行政サービス等を受ける市民に費用の一部を負担していただく場合があります。保育園を利用する児童の保護者に負担していただく「保育運営費保護者負担金」が多くを占めます。

使用料及び手数料 6億6,018万2千円

使用料には、公共施設を借りる場合の使用料や、自転車等駐車場使用料、学童保育使用料、道路占用料などがあります。手数料には、家庭ごみの収集手数料や住民票などの証明書発行手数料などがあります。

繰入金 13億7,883万9千円

今年度に予定している支出と収入との差を埋めて予算を組むための最後の手段として、積み立ててきた預金を投入しています。積立金については、12頁をご覧ください。



「その他」には、諸収入・前年度繰越金・地方譲与税・財産収入などがあります。

？ 市民が納めた税金はどのように使われているの



2年度予算の使いみち

子ども、高齢者、障害者などの福祉のために

義務教育や文化・スポーツなどのために

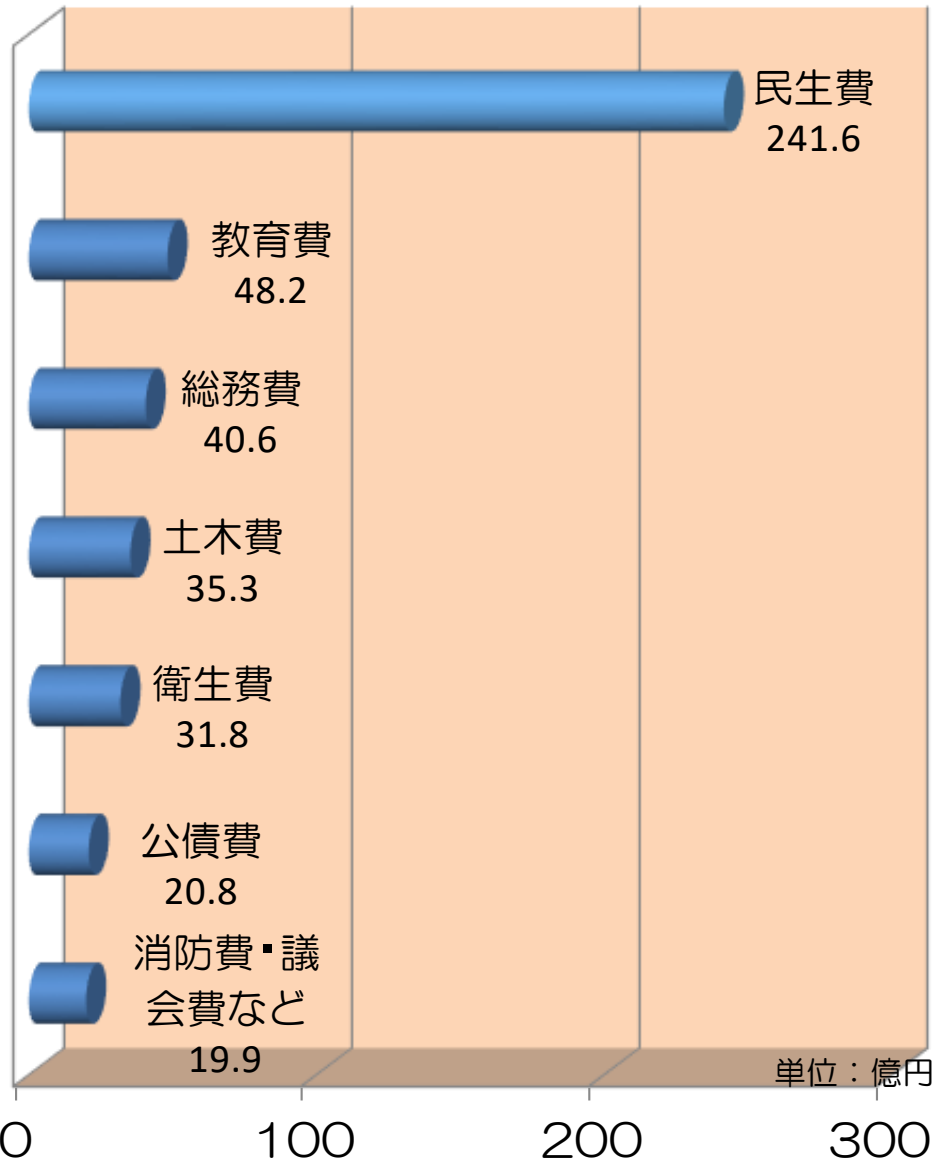
市政運営のために

道路・橋や公園整備など、まちづくりのために

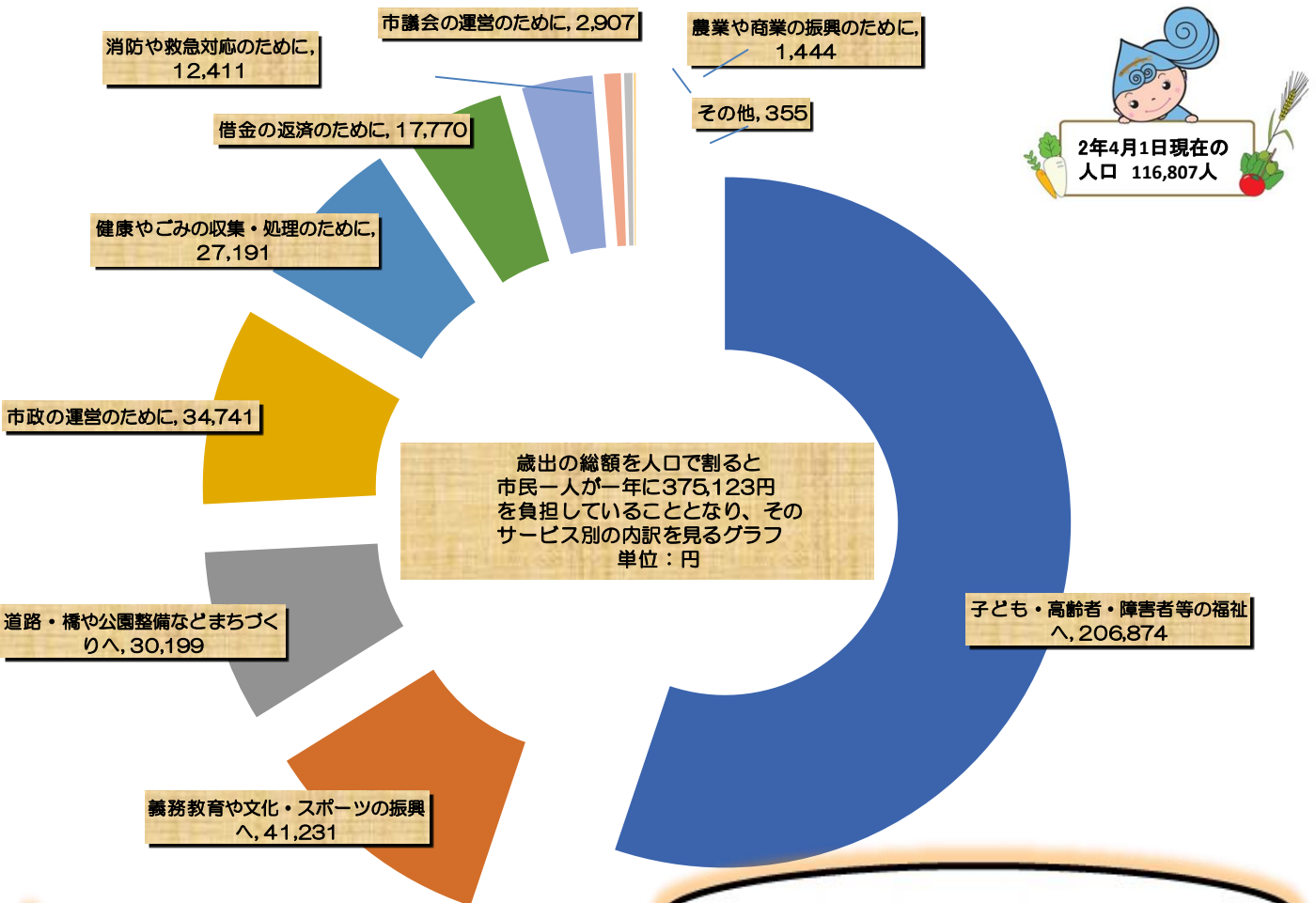
健康づくりや、ごみ処理などのために

借金の返済のために

消防・救急や議会運営などのために



？ サービス別の市民一人あたりの負担はいくら

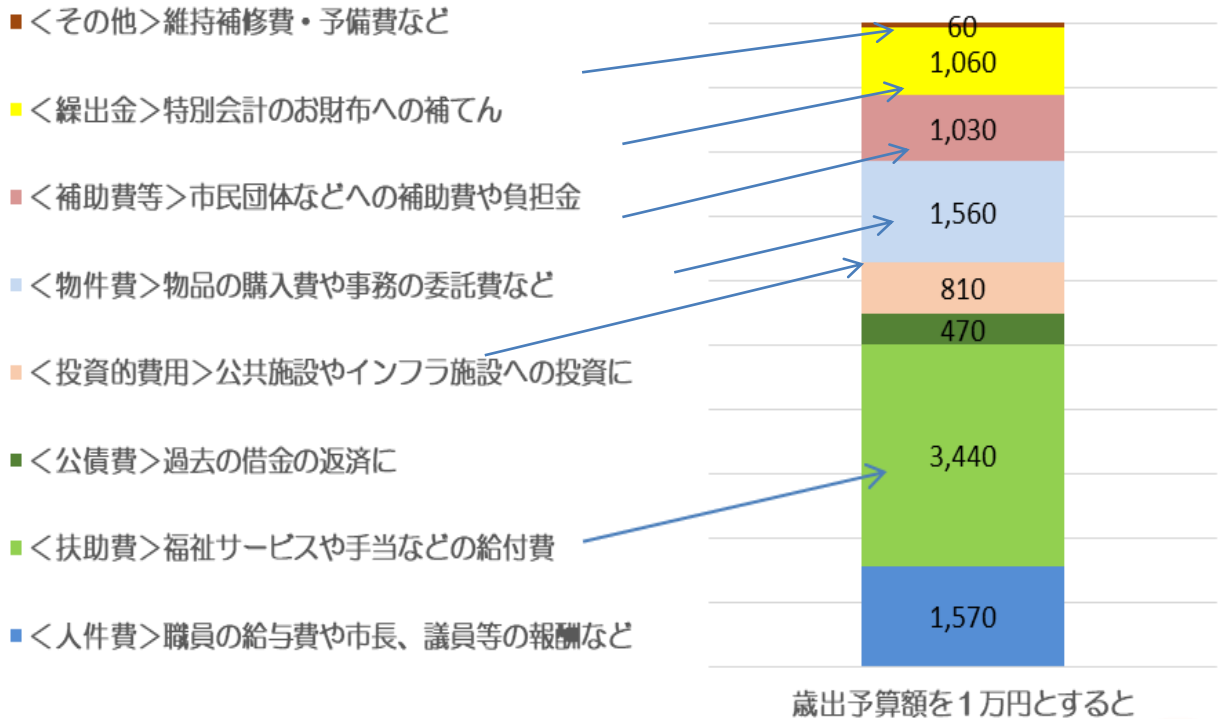


東久留米市では住みたい、住み続けたいまちに向けて、子育てがしやすいまちづくりを進めており、子ども・子育て支援に多くのお金を使っています（上のグラフと同様に、市民一人あたりの負担で見ると……）

- ・私立保育園および公立保育園の運営や子ども子育て支援のために…………… 39,251円
- ・幼稚園と認定こども園の運営のために… 24,993円
- ・小中学校の校舎の改修と運営のために… 23,830円
（教員の給料は東京都負担なので含まれていません）
- ・学童保育所の運営のために…………… 3,825円
- ・児童館の運営のために…………… 1,540円

？ 歳出を費用の性質別に分類すると どのような特徴があるの

単位：円



普段はあまり聞きなれない項目もあると思いますが、上のグラフの内容を見ると市が法律などにより義務的に支出をしなければならない経費である「人件費・扶助費・公債費」が全体の半分を占めていることが分かります。特に、扶助費として市民の方々の福祉のために支出している経費が全体の約3分の1で、この経費は年々増加しています。「投資的経費」は市民の皆様が普段利用する道路や公園、学校などの将来にわたり長く使用する施設を整備する経費であり、市の計画に基づいて計上しています。2年度の予算額は教育施設の整備など35億円を超える規模となっています。また、その財源には国や都からの補助金のほか、政府系の金融機関からの借金も入っています。その借金を返済する経費が公債費として後年度の負担になります。その他の経費として、物品を購入したり、事務を民間の事業者に委託したりすることでかかる「物件費」や、各種団体などの公益性のある活動などに対して補助をする「補助費等」などがあります。

？ 特別会計ではどのような事業が行われているの



東久留米市には、次の4つの特別会計（下水道事業会計含む）があり、それぞれ独自の収入によって事業を行っていますが、それだけでは足りないため、一般会計から市税等の一部を投入して運営されています。このため、特別会計の赤字が大きくなると市財政全体に影響が出てしまいます。特別会計の健全な運営も求められます。

※下水道事業会計については、収支的収支の内、支出と資本的収支の内、支出の合計額を記載しております。

特別会計の種類	事業の内容	2年度の 予算額 (千円)	一般会計か らの投入額 (千円)
国民健康保険	自営業を営む人など社会保険に加入していない74歳までの人が加入する医療保険で、加入者が納める国民健康保険税などによって運営されています。	11,713,061	1,310,532
後期高齢者医療	75歳以上の高齢者（※）が加入する医療保険で、加入者が納める保険料などによって運営されています。 ※一定の障害がある方は65歳から加入できます。	3,308,992	1,636,647
介護保険	居宅や施設で介護サービスをうけられるように給付事業を行っており、40歳以上の人々が納める介護保険料などによって運営されています。	10,019,991	1,713,544
下水道事業	下水道施設の運営や、維持・更新のための事業を行っており、水道料金と共に市民が納めている下水道使用料などによって運営されています。	3,579,966 (支出のみ)	710,004

？ 市の預金はどのくらいあるの

一般会計の30年度末積立金（預金）残高は約58億円で、市民1人あたり49,611円（26市中「金額が多い順」で22番目）となっています。

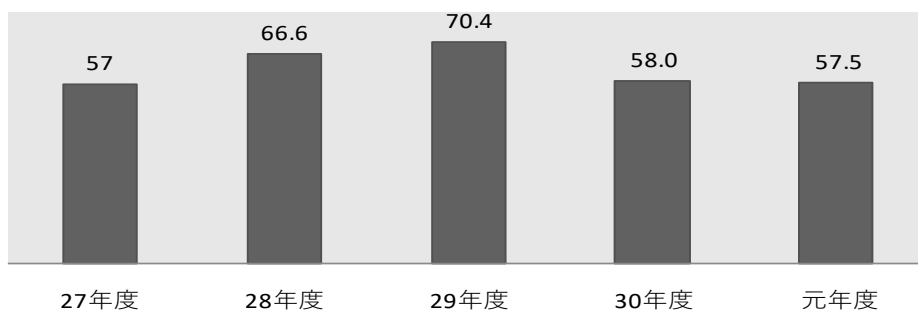
（参考）多摩26市の平均で見ると、1人あたり52,820円



預金の推移

積立金（預金）残高

単位：億円



※27～30年度までは決算額、令和元年度は見込額です

預金の種類

積立金の名称	使いみち	令和元年度末 現在高見込み (千円)
財政調整基金	災害時への備えや、年度間の収入の調整のために使える積立金	3,023,873
みどりの基金	緑地の保全や拡大のために限って使える積立金	1,046,822
公共施設等整備基金	公共施設の改修や更新のために限って使える積立金	1,122,904
教育振興基金	教育施設の改修や更新、教育用の高価な備品の購入のために限って使える積立金	54,895
郷土美術館建設基金	市民の芸術作品や歴史的な文化財を展示する施設を建設するために限って使える積立金	175,826
自転車等駐車場整備基金	自転車駐車を整備したり、その用地を買うために限って使える積立金	106,213
ふるさと創生基金	特色のあるまちづくりのため、伝統芸能の保存などの目的で使える積立金	72,634
都市計画事業基金	道路建設などの都市計画事業や土地区画整理事業のために限って使える積立金	142,005



？ 市の借金ほどのくらいある

市の普通会計の、30年度末での借金残高は約247.1億円で、市民1人あたり211,416円（26市中「金額が少ない順」で17番目）となっています。

（参考）多摩26市の平均で見ると、1人あたり197,509円

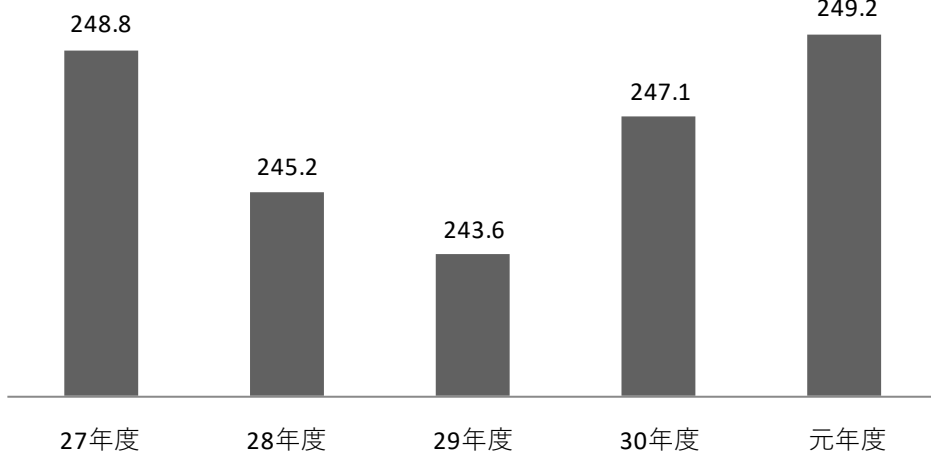
一般家庭でも大きな買い物をする時はローンを組むように、市でも多額の費用が生じる公共施設や、道路や橋などのインフラ施設を建設をする時には、長期のローンを組みます。これを普通建設事業債と言います。市には毎日、転入する人、転出する人がいます。このため、長く使用する施設のための費用は、現在市内に住んでいる人だけに負担していただくのではなく、今後市に住むことになる人たちにも負担をしていただくためにも、借り入れをして長期で返済することは有効とされています。

また、国の財政において地方交付税の財源が不足しているため、平成13年度から、地方交付税の振り替え措置として、交付されるべき金額の一部を市が借金して財源を確保する制度が導入されました。この借金を「臨時財政対策債」と言います。その返済時の元利金は、国が後年度の地方交付税において措置する約束になっています。東久留米市の借金残高のおよそ7割は、臨時財政対策債の残高となっています。

借金の推移

地方債（借金）残高

単位：億円



※27～30年度までは決算額、令和元年度は見込額です



2年度の東久留米市の主な事業①

☆計画を推進していくために

- 長期総合計画策定事業
- 住民情報システム共同利用事業（自治体クラウド導入支援業務）
- 公共施設マネジメントの推進 など

長期総合計画策定事業

1,275万3千円

第5次長期総合計画の策定に向けた支援、業務を委託します。

住民情報システム共同利用事業

1億739万2千円

令和4年1月の次期住民情報系システムの再構築にあたり、小平市・東村山市・東久留米市の3市にて「自治体クラウド」の導入を図り、共同調達・共同利用を行っていきます。令和2年度及び3年度の構築作業に向けて、プロポーザル方式により選定した事業者に再構築業務を委託します。

ICT利活用推進事業

512万2千円

RPA（RPAソフトウェアとAI-OCR）を導入し、事務の省力化と職員の負担軽減に取り組んでいきます。

公共施設マネジメントの推進のために

16億4,058万4千円

公共施設マネジメントの推進、公共施設の整備を行います。

2年度の東久留米市の主な事業②



☆にぎわいと活力あふれるまち

- 農業振興計画中間見直し事業
- 都市農業活性化支援事業

☆健康で幸せにすごせるまち

- グループホーム等開設準備経費助成事業
- ウォーキングマップ活用事業
- ロタウイルスワクチン定期接種事業 など

グループホーム等開設準備経費助成事業

3,020万4千円

認知症高齢者グループホームと併設の小規模多機能型居宅介護を3年3月に開設する地域密着型サービス事業者に対して、設備整備などに係る経費の一部を補助します。

ウォーキングマップ活用事業

165万3千円

市健康増進計画(第2次)の運動分野推進のため、元年度に作成したウォーキングマップを活用し、市民の運動習慣を促進するためのウォーキングイベントを開催します。

農業振興計画 中間見直し事業 81万6千円

「市民みんなで未来につなげる都市農業（東久留米市農業振興計画）」の中間年となる2年度に、計画の進捗状況の確認と法改正や社会情勢の変化による計画の修正等を行います。

ロタウイルス ワクチン 定期接種事業 1,350万1千円

2年10月より、ロタウイルスワクチンが定期接種化（A類疾病）することにより、予防接種委託費等を拡大します。

都市農業 活性化支援事業 1,762万4千円

認定農業者等が収益性の高い農業を展開するために必要な農業用施設を整備する経費を補助します。



2年度の東久留米市の主な事業③

☆住みやすさを感じるまち

- 地域防災計画等改訂事業
- デマンド型交通運行事業
- 無電柱化推進事業
- 都市計画道路東3・4・13号線と東3・4・21号線整備事業など

地域防災計画等改訂事業 538万9千円

東京都防災計画が時点修正されたことに伴い市と都の円滑な防災対策構築のために東久留米市地域防災計画を改訂します。

デマンド型交通運行事業 2,981万6千円

地域公共交通の充実に向けた短期的な施策として、子育て世帯及び高齢者を対象としたデマンド型交通の実験運行を実施し、市内に点在している公共交通空白地域の解消を図ります。

都市計画道路東3・4・13号線 及び東3・4・21号線整備事業 7億3,219万3千円

東3・4・13号線及び東3・4・21号線を整備し、市北部地域における生活道路への通過交通の流入抑制や歩行者等の安全の確保、東久留米駅や清瀬駅へのアクセス向上、さらには冠水対策をあわせて図ります。



デマンド交通車両
「くるぶー」



2年度の東久留米市の主な事業④

☆子どもの未来と文化をはぐくむ まち ①

- 小規模保育給付費（1園新規開園）
- 保育所等利用多子世帯負担軽減事業
- 学童保育所運営業務委託



児童発達支援センター

小規模保育給付費 （1園新規開園） 4億5,550万5千円

地域型保育事業のうち、小規模保育施設の運営に係る給付費。既存の10施設に加えて、4月に新規開園したわらべ東久留米駅前保育園（19名）に係る給付費を新たに加えたものです。

学童保育所管理運営事業 8,118万円

民間活力の導入に係る実施計画に基づき、金山学童保育所、くぬぎ第一・第二学童保育所の3学童保育所で民間事業者に委託運営を行います。

保育所等利用多子世帯負担軽減事業 9,516万円

幼児教育・保育の無償化に伴い、子どもを2人以上持つ世帯が保育所等を利用した際に負担する第2子以降の保育料を軽減します。

☆子どもの未来と文化をはぐくむまち②

- 統合型校務支援システム導入事業
- 文化財資料集出版事業
「東久留米市歴史ライブラリー3」
- 中央図書館大規模改造事業 など

統合型校務支援 システム導入事業 4,800万2千円

学校教員の働き方改革の推進に伴い、統合型校務支援システムを導入します。

文化財資料集出版事業 「東久留米市歴史 ライブラリー3」 130万4千円

「東久留米市歴史ライブラリー」シリーズの第3巻として、黎明期から現代に至るまでの学校史をテーマとした「（仮称）東久留米の学校史」を刊行する。

中央図書館大規模改造事業 7億7,188万7千円

建築から40年が経過し老朽化が進んでいる中央図書館について、「東久留米市施設整備プログラム」及び「今後の東久留米市立図書館の運営方針」に基づき、施設の長寿命化と安全性確保、新たなサービスのための基盤整備に向けた改造工事を実施します。



2年度の東久留米市の主な事業⑤

☆地球環境にやさしいまち

- 庁舎省エネ設備等導入事業
(照明LED化・パッケージエアコン)
- 向山緑地若返り事業
- 公園灯LED化事業

☆その他事業

- 市制施行50周年記念事業、
国勢調査、東京都知事選挙 など

庁舎照明LED化・ パッケージエアコン更新事業 2億1,843万8千円

市庁舎の照明器具及びパッケージエアコンの老朽化に伴い、省エネルギー化を目的として、LED照明器具及びエアコン機器を更新します。

向山緑地若返り事業 500万円

向山緑地において、更新が困難となった老木化した樹木を伐採及び抜根し、若木を植樹すること、また、萌芽更新を目的として、樹齢15年から20年程度の樹木を伐採し、もやわけや下草の除草などを行うことで若返りを図ります。

市制施行50周年記念事業 1,345万8千円

市制施行50周年を記念して様々な事業を行います。

- ・ 50周年記念式典事業
- ・ 市のプロモーション動画作成事業
- ・ デザインマンホール蓋の作成 など



「市制施行50周年記念ロゴマーク」

？ 予算から見てくる東久留米市の課題は

☆人口減少と社会保障費の拡大

- 市内の人口の急激な伸びは止まっており、少子化の影響も受けて働く世代の人口が減り始めているため、税収が減少していく心配があります。
- 75歳以上の高齢者が増えているため、医療や介護サービスに係る経費が増え続けています。



まちの魅力を高めて将来の人口減少を抑制するため28年度からの市の戦略を立てました。一方で支出を減らす努力もしています。



公共施設の改修に計画的に取り組み、安全に長く利用できるよう、28年度に「施設整備プログラム」を策定しました。

☆公共施設の老朽化対策と財源

- 人口が急増した昭和30～40年代に建設した施設が次々と建て替えを必要とする時期を迎え、その建設費の増加に対応する必要があります。
- 市の預金（積立金）を取り崩さないと毎年の予算が組めない状況が続いていますが、東京都の他市と比べ、預金の額が少ないのが実情です。



都市計画道路
東3・4・13号線
東3・4・21号線

都市計画道路
東3・4・5号線

東久留米駅

東久留米市役所

中央図書館

向山緑地

所沢街道

小金井街道

新所沢街道

新小金井街道

新青梅街道

2年度の予算事業を地図で見る

予算は市民生活に密接に係わりますので、なるべくわかりやすく、毎年少しずつ改良を加えながら作成しています。

また、市ホームページ

(<http://www.city.higashikurume.lg.jp/index.html>)

にも詳しい資料がございますのでご利用ください。市役所1階 市政情報コーナーにて予算書そのものをご覧いただけます。また有料（一般会計予算書 1,900円）で頒布しております。

東久留米市 企画経営室 財政課（470-7706）



「市制施行50周年記念ロゴマーク」



市の鳥「オナガ」